

議会運営委員会の行政視察報告

議会運営委員会が、議会運営の調査と研究のため行政視察を実施しました。ここでは、視察の概要についてお知らせします。

①佐賀県武雄市（10月9日）

「市議会の見える化」について調査しました。

武雄市議会ではケーブルテレビを活用した本会議映像の放送、議場へのモニターテレビ、パソコン等の会議での持ち込み、本会議の文字通訳配信などを行い、会議の主張、政策などが市民に分かりやすい「見える化」に取り組んでいます。

当日は、説明を受けた後、特にモニターテレビの導入に関して活発な意見交換を行いました。

②佐賀県鳥栖市（10月10日）

「議会報告会の実施と見直し状況」について調査しました。

鳥栖市議会では議会報告会を実施してから7回

目になります。今年から小テーブル、少人数でお茶、菓子を囲んで行う「ワールドカフェ方式」を採用して実施しています。

当日は、「ワールドカフェ方式」の効果や市民の反響について、活発な意見交換を行いました。

③福岡県飯塚市（10月10日）

「タブレット端末の導入」について調査しました。

飯塚市議会では、会議の資料等を印刷せずタブレット端末を使用する「ペーパーレス化」に取り組んでいます。

当日は、タブレット端末の導入による経費削減効果や会議以外の活用法について説明を受け、意見交換を行いました。

④福岡県嘉麻市（10月11日）

「議員定数削減後の常任委員会構成」について調査しました。

嘉麻市議会では、議員定数を削減したことに伴い、委員会の人数を変更して審査を行っていきます。相馬市議会でも改選後は議員定数を削減することから、定数削減後の委員会審査への影響等について活発な意見交換を行いました。



取り組みについて説明を受ける委員ら（嘉麻市）

熊本県高森町と

災害時相互応援協定を締結

平成30年10月9日、熊本県高森町との災害時相互応援協定締結式が相馬市役所庁議室にて執り行われました。

この協定は、どちらかの自治体で地震や水害などの大規模な災害が発生したとき、被災した自治体だけでは十分な対応ができない場合に、被災者の救出、医療等に必要となる資機材や物資を提供するほか、災害援助ボランティアのあつせん、避難が必要な被災者の受入れ等の支援を行うものです。

今回の締結によって、相馬市がこの協定を締結している自治体は12市1区1町となります。

締結式には高森町長、相馬市長のほか、立会人として高森町議会及び相馬市議会の議長ら出席し、互いの市町が結束す



協定の締結を見届けた高森町議会田上議長（写真左端）と相馬市議会米山議長（写真右端）